

意見書

本会議で議員から提出された意見書案14件のうち12件を原案どおり可決し、関係機関へ送付しました。

原案可決

- 食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて食品表示制度の抜本改正を求める意見書
教員免許更新制の存続を求める意見書
国家公務員制度に準じた地方公務員制度の改革を求める意見書
新成長戦略に関する早期の工程表の作成及び今後政策を推進するうえでの財政展望の明示を求める意見書
生産性の高い競争力に富んだ農家の育成を求める意見書
幼児教育の無償化と保育サービスの充実を求める意見書
政治資金規正法の制裁強化を求める意見書
介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書
子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書
子ども手当の全額国庫負担を求める意見書
子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を求める意見書
「慰安婦」問題について政府の誠実な対応を求める意見書

否決

- 永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書
教育再生・教育の正常化の徹底を求める意見書

請願の審議結果

継続審査

- 所得税法第56条の廃止を求める請願

請願者：長岡京市友岡
京都府乙訓向日民主商工会
代表 小倉 忠男
向日市寺戸町西野辺
京健労乙訓支部
代表 松村 善一

不採択

- 憲法・児童福祉法にもとづき、国と自治体の責任で保育行政の拡充を求める請願

請願者：向日市寺戸町笹屋
向日市保育をよりよくする会
代表 尾崎 泰代
請願者以外の署名者7398人(うち追加署名者155人)

請願の処理経過及び結果について(報告)

12月議会で採択された請願について、3月18日に市長から次のとおり報告がありました。

- JR向日町駅の早急なバリアフリーの実現と市民参加のもとに駅舎改築計画の十分な検討を求める請願

【処理経過及び結果】

JR向日町駅については、駅舎のバリアフリー化と鉄道による分断を解消していくための東西自由通路の整備や駅舎の橋上化が最も有効な整備方法であると判断し計画したもので、原案を公表し、計画段階から市議会をはじめ市民の皆様にご意見をお聞きしてきたところです。
このような中で、昨年第4回定例会に請願が提出され、採択されたところであり、このことを重く受け止めるとともに、その整備計画を見直し、現在の駅構内のバリアフリー化を先行させる方針を固めたものです。
今後のJR向日町駅整備計画については、市民の皆様や市議会のご意見を踏まえ、駅東口開設のための駅東側地域のアクセス道路整備などの環境整備に取り組んでまいりたく存じております。

- 私立幼稚園保護者負担軽減並びに幼児教育振興助成に関する請願

【処理経過及び結果】

私立幼稚園の保護者助成に関しましては、厳しい財政状況ではありますが、以前から幼児教育を振興するため、保護者の経済負担の軽減に努めているところであります。
本市の施策である私立幼稚園児教材費補助金につきましては、平成22年度から、園児一人当たり月額3,400円に引き上げ、年額40,800円を交付する予定であります。
国の基準に準じて交付している私立幼稚園就園奨励費補助金につきましては、第2子・第3子の就園に配慮された交付基準であり、平成21年度に補助金額が大きく増額されたところであります。
私立幼稚園の助成に関しましては、平成21年度から私立幼稚園設備費補助金を1園当たり30,000円増額して180,000円としたところであり、また、市内3園の特別支援教育を推進するため、新たに私立幼稚園特別支援教育振興補助金として、186万2千円を交付するところでもあります。
今後におきましても、私立幼稚園の運営支援に努めてまいります。

討論

平成22年度一般会計当初予算案の採決に際し、賛成討論を2議員、反対討論を3議員が行いました。
要旨は次のとおりです。

賛成

向日市の将来を方向づける極めて重要な予算

向政21 西川克巳議員

22年度予算で評価できる点は、消防・救急では消防団第3分団の消防ポンプ車の更新、交通安全では西向日駅のバリアフリー化に対する補助事業の継続、地域福祉では市役所別館エレベーターの設置、高齢者福祉では認知症の方を地域で支える体制づくりへの取り組み、児童福祉では民間保育所を新たに整備するための経費の計上、私立幼稚園の園児教材費や就園奨励費の補助金増額、学校教育では学校施設の耐震化の推進、農業では農産物の販路を拡大し、地産地消を推進、道路では寺戸森本幹線1号、寺戸幹線1号などの幹線道路整備事業などである。

市民いじめの予算に反対

共産党議員団

松山幸次議員

本予算で市民要望の観点から賛成できるものは、阪急西向日駅のバリアフリー化補助、木造住宅耐震改修補助、妊婦検診公費助成、私立幼稚園児教育助成拡大、小中学校改築・耐震化、中小企業融資利子補給・預託、世界平和都市啓発事業などである。

反対

共産党議員団

山崎幸次議員

予算の反対理由は市民いじめの行財政改革プログラムの推進である。小中学校修学旅行補助金の廃止や保育料の連続値上げ、昨年12月からは水道使用料の値上げを強行した。高すぎる国保料や介護保険料は引き下げを。公立保育

賛成

市民福祉向上の事業を最優先した予算

公明党議員団

富安輝雄議員

市長の市政推進の基本政策から評価できる主な事業は、災害時に自力で避難すること困難な高齢者などへの避難支援体制の整備、福祉会館地下駐車場から会館へ入る扉の自動ドアへの改修、小中学校の耐震化事業、プール改修や防火設備などの小中学校施設整備事業、寺戸森本幹線1号、西国街道、寺戸鶏冠井幹線の整備改良、市民サービス向上や事務の省力化を図る戸籍電子化事業などである。

反対

飛鳥井佳子議員

野田隆喜議員

多くの無駄使い予算に反対
本予算で阪急西向日駅のバリアフリー化予算、消費生活相談の拡充は評価する。しかし、本来あるべき巡回バスの予算、市民ニーズの高い子ども修学旅行への補助金や、高齢者や障がい者への削減された補助金の復活がない。男女共同参画プランに明記されている拠点施設「女性センター」が未だにできていないのに、何のために420万円かけて新たなプランをつくるのか。児童虐待防止や自殺予防対策の予算は、あまりに少なく残念である。JR東側道路への調査業務費のお金があ

反対

野田隆喜議員

野田隆喜議員

れば、不況失業時代に苦しむ児童手当分として国、府、市、市民への施策や、はり・灸・マッサージの補助制度の復活ができる。政権が変わった以降の子どもの手当の本格実施については、全額国が負担し、京都市と結んだ協定見直しを現し、高すぎる水道料金を値下げすべきだ。

反対

野田隆喜議員

野田隆喜議員

寄附金の使途を公募にすべし
市役所別館エレベーター設置は社会福祉のためにいたいた寄付3千万円に一般財源3千万円を加えた計6千万円の事業である。事業目的として障がい者や高齢者の社会参加の促進が図れ、誰もが安心して安全に市役所を利用できるように庁舎の整備を図るとあるが、今は他の社会福祉の貢献のために使うべきだ。市民に使途について公募すべきである。

6月定例会の予定

Table with 2 columns: Date and Event. Includes dates from 5月31日 to 6月23日 and events like '本会議(提出議案等の説明)', '本会議(一般質問)', '厚生常任委員会', etc.

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。お問い合わせは議会事務局まで。
議会事務局 931-1111(内線318)

編集後記

3月議会では、議員提出の条例制定議案としては18年ぶりとなる「公契約条例の制定について」が熱心に審議されました。
議員が市政を動かすため、多くの条例案が提出できるようみなで努力します。
JR向日町駅の工事は、バリアフリー化優先に変更され、市政に「議会の指導性」が示されました。引き続き市民の皆さんの期待に応えられるよう頑張ります。



議会活性化特別委員会

議会のつぎ

Calendar table showing dates from 1月 to 3月 and corresponding council activities such as '議会活性化特別委員会', '近畿市議会議長会第3回支部長会議(大阪市)', '京都市議会(舞鶴市)', etc.